

# データでみる福島再生

## 最近の動き

### ○除染等工事の進捗状況

- ・特定帰還居住区域では、大熊町、双葉町、浪江町、富岡町において除染・解体を実施しています。2026年4月末時点で、約676haの除染を完了しました。
- ・南相馬市の特定帰還居住区域は2026年4月6日に着工しました。

### ○除染仮置場等の状況（福島県内）

- ・仮置場等総数1,372箇所のうち、10箇所で除去土壌等を保管中、1,362箇所では搬出が完了し、1,313箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

### ○中間貯蔵施設の整備の現状

- ・除去土壌の分別処理を行い、5月末時点で、約1,201万 $\text{m}^3$ （輸送量ベース）の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。
- ・廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、5月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器36,473個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

### ○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- ・2026年5月末時点で、約1,440万 $\text{m}^3$ の除去土壌等（帰還困難区域を含む）を中間貯蔵施設へ搬入しました。

### ○中間貯蔵施設用地の状況

- ・用地取得については、5月末時点で契約者数1,990人、面積約1,321haについて契約しております。

### ○国直轄による特定廃棄物の処理進捗状況

- ・特定帰還居住区域の解体申請を受付中（5市町）です。
- ・被災家屋等について、4月末時点で、約19,600件の解体申請を受付済であり、約18,800件を解体済です。
- ・対策地域内廃棄物等の処理について、4月末時点で約33万トンが埋立処分済、約61万トンが焼却処理済です。
- ・福島県内の指定廃棄物については、3月末時点で約50万トン特定廃棄物埋立処分施設等で処分、中間貯蔵施設で保管または仮設減容化施設で処理等しています。

## ○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の焼却処理状況

- ・4月末時点で、約161万トン（除染廃棄物を含む）を各仮設焼却施設で処理しました。

## ○クリーンセンターふたばの埋立状況

- ・5月末時点で、36,793袋をクリーンセンターふたばに埋め立てました。

## ○特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

- ・5月末時点で、296,957袋を特定廃棄物埋立処分施設へ埋め立てしました。
- ・特定廃棄物埋立処分施設への特定廃棄物の埋立ては、2023年10月31日が最終埋立日となり、無事終了しました。

## ○放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況（5月実施）

- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターにおいて、車座意見交換会を1回、放射線教育の支援を3回実施しました。
- ・環境再生プラザにおいて、専門家派遣を8回、移動展示を1回（2日）実施しました。
- ・内部被ばく検査（WBC）を1回（1日）実施しました。

## ○帰還困難区域等における鳥獣の捕獲状況

- ・2026年度の捕獲数は、5月末現在でイノシシ22頭、アライグマ85頭、ハクビシン16頭となっています。